

令和元年度 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターふじ寿か園 PDCAシート
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

地域に必要な生活支援について連合自治会がアンケートを実施。結果としてボランティアセンターは必要だと思ふ人が多かった。地域に必要な社会資源として、ボランティアセンターの立ち上げに連合自治会が中心となって動いている。また地域も高齢化しており、老後に関して不安を解消していくために、エンディングノートを切っ掛けとして講座を開催していく。地域特性として、福祉施設が多く、グループホームが中心となって、認知症の周知稼働を行っている。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

まちづくり委員会、生活支援推進委員会に参加し、地域が課題としているささえあいバス、ボランティアセンターについて支援チームと共に後方支援をし、インフォーマルサービスの開発につなげる。

・エンディングノートの講座を通して、中山ケアプラザと共催し3回コースの講座を実施。
・地区内のサロンや老人会に向けて出前講座を実施

GHと協働事業として小中学校で認知症サポーター養成講座を実施。一般向けにはサロンで実施。山下ふれあいまつりの継続実施を支援し、認知症についての周知活動を行う。

事例を用いて、ICFの視点を学び、他の事例に役立てる。インフォーマルサポートの周知

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度は連合自治会で動いている「ささえあいバス」や『生活支援推進会(ボランティアセンター)』の活動を話し合っている会議へと参加させていただき、運営や活動内容について意見収集のまとめや書類作成など後方支援に入り、活動の周知へ協力できた。今後も会議へ参加し、支援を継続していく。地域へは元気づくりステーションや各自治会のサロンへも参加し、継続して活動できるようにネットワーク会議などで、それぞれの課題について共有し一緒に考えていく環境ができた。緑区制50周年では、各活動団体から参加者を募り、介護予防事業の発表をした。また、エンディングノートの周知を中山地域プラザとの共催とサロンなどで開催し、介護がまだ必要としていない住民への情報提供や包括の周知につながった。次年度は山下みどり台小コミュニティーハウスとも共催し、エンディングノートの周知へ開催していく。地域内のグループホームと地域住民のキャラバンメイトと認知症の啓発周知を、ふれあい祭りや地域内でのイベントなどで連携して活動できた。8050問題など関係機関が連決して対応する相談についても、包括が窓口で終わることなく、ケアマネジャーと役割分担して動くとともに、事例検討会の中で、アセスメントや病識のリスクマネジメントや行政・包括・ケアマネジャー・関係機関が連携していけるように実施した。次年度は関係機関の役割や動き、それぞれがの関わりなど事例を中心とした会議を実施していきたい。

区からのコメント

様々な課題を抱える相談支援について、関係機関と連携しながら住民に寄り添って対応しています。また積極的に、地域活動の後方支援や、サロンの場を使い、エンディングノートの周知を行いました。地域に出向き、地域の課題を共有することができています。今後も継続的に取組、地域住民に寄り添った支援を行っていただきます。今後、様々な事業を計画していくには、包括支援センターとしての地域課題を明確にし取り組むことが不可欠です。次年度以降、相談傾向の分析や、現在ある社会資源で必要十分か、ニーズの分析に取り組んでください。また地域ケア会議の場等を利用し、包括支援センターとしての課題と、地域住民と一緒に検討していくことを期待します。

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市、区や関係団体の連絡会等での研修に参加し、各職種に必要なスキルを学ぶ。 ・公正、中立性の確保について、利用者へホームページなど使用し情報提供を行い、本人が主体となって選択できるように動く。 	<p>緊急時対応マニュアルとしてファイルを作成。利用者の急変時や事故への対応、災害時の対応。苦情対応や個人情報に関するのマニュアル作成。マニュアルを作成し、ファイルとして確認できるようにしている。</p> <p>法人が行う個人情報や人権などの職員研修に参加し伝達している。また行政や市社協が行っている研修へ必要に応じて参加している。</p>
実績	<p>研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 4/24根拠とリスクを考慮したアセスメント 6/13精神障害の人への支援 7/24アルコール依存・独居男性へのアプローチ 7/26対応困難な方を理解する 8/27地域医療構想から地域包括ケア病棟への理解 8/30インシデントプロセス法を用いた事例検討会 9/25サービスBを知ろう 10/23根拠とリスクを考慮したアセスメント 11/19緑区介護予防スキルアップ研修 11/27根拠とリスクを考慮したアセスメント2 11/28糖尿病について 1/17成年後見制度の利用に向けて 2/13府民と不穏の漢方について 2/17精神疾患の利用者及び家族に対する対応・面接について <p>最低職員1名参加し、後日伝達にて周知し、資料をファイリング。</p>	<p>研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 6/25倫理研修 8/27介護事故研修 9/24個人情報研修 10/29身体拘束 11/26災害防災マニュアル再確認・実践対応 3/26リスクマネジメント研修 <p>職員1名参加し、後日伝達にて周知し、資料をファイリング。</p>

特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターふじ寿か園

令和元年度 自主事業計画書・報告書

事業	1 地域活動交流事業	5 共催(1と3)
	2 地域包括支援センター運営事業	6 共催(2と3)
	3 生活支援体制整備事業	7 3事業共催(1と2と3)
	4 共催(1と2)	
事業の性質	1 優先的に取り組みが求められる事業	

対象者	1 高齢者	5 地域
	2 障害児・者	6 事業者
	3 養育者及び乳幼児	7 その他
	4 子ども・青少年	

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
1	頭と体を使おう	22	2 包括	1 高齢者	一般住民	2 ねらいをさせる	介護予防を含めた二次予防対象者の追跡と活動	介護予防関係の講座を行うとともに、地域の住民が介護予防に取り組みを支援する(脳トレや体操・歌など)	9	72
2	グループホーム・包括協働事業	24	2 包括	5 地域	認知症高齢者グループホーム	2 ねらいをさせる	地区内の5か所の認知症グループホームと協働し、認知症に関する啓発事業を行うと共に、山下ふれあいまつりを通して世代間交流、地域交流をする機会を持ち地域住民に対して認知症の理解を深めてもらう。	認知症啓発事業 地域で開催するキャラバンメイトの窓口になり、対象者に合わせた講座内容を一般のメイトさんと共に企画、実施していく。地域の学校などへは継続的に講座開催ができるようにアウトリーチしていく。 ・山下ふれあいまつり 多世代の地域住民と交流する機会を得ると共に、認知症の方々やグループホームに触れて頂く事によって興味をもって頂く。	8	68
3	介護者のつどい	25	2 包括	1 高齢者	一般住民	2 ねらいをさせる	地区内の介護者の不安やストレスを軽減すると共に、役立つ情報などを提供し在宅介護が継続できるよう支援していく。又、介護者の思いを受け止める場としていく。	地域の介護者に加えて、介護経験のあるボランティアを交えながら不安や悩みなど懇談会を通して共有していく。介護に関する情報や、自身の老後に向けての関心事などの情報共有も行っていく。	1	7
4	山下地区児童・民生委員向け勉強会	25	2 包括	5 地域		2 ねらいをさせる	定期的に関わりを持つ事によって、顔の見える関係を構築し児童民生委員と共に地域住民が安心して生活できる街づくりを行っていく。	30年度スタート当初はミニ講座依頼あったが、30年度秋を以て要援護者リストの提供を受けることになり予定変更があり包括が主となったミニ講座は行わずはなかったが、民事協の動きに寄り添いながら個人情報保護法の講座提案や要援護者リストの提供を受けての訪問の際のアドバイス(平成29年度作成の見守りガイドブック)などを行ってきた。	8	149
5	介護予防「健康麻雀」	27	2 包括	5 地域	一般住民	2 ねらいをさせる	山下地区の住人の健康維持を目的として麻雀を開催する。住民がお互いに助け合い、麻雀で認知症あ予防でき、また、認知症になっても見守りあできる体制づくりを行う	麻雀を本目的に、住民同士のつながりを持つ。月2回(午前 初心者・午後は経験者で対戦する)	15	623
6	健康体操	30	2 包括	5 地域	一般住民	1 優先的に取り	平成19年から地域住民の活動で週2回健康体操を行ってきたが、講師の休業等あり、回数が2回から1回に減ってしまうため、地域の自立の機会ととらえ、コグニサイズ等で、講師が不在でもできる態勢作りを行う	2回のうち、1回は、講師がストレッチを行い、もう1回は、コグニサイズを習得してもらい、地域住民が自律して出来るようにする	10	127
7	山下ネットワークサロン	27	6 共催(2と3)	5 地域	一般住民	2 ねらいをさせる	山下地区のサロンがネットワーク化されることにより、高齢者の閉じこもり解消とともに、地域の活性化を図る	連合町内会で行っているサロンの確認と開催支援や交流センターでの開催を行い、ネットワーク化し、マップを作成し、地域の高齢者や地域住民に周知し、見守り体制をつくる	178	2,788
8	認知症啓発講座	30	2 包括	5 地域	一般住民	1 優先的に取り	認知症の方々が地域で生活できるよ、地域の住民が見守りや支援ができるようにする	キャラバンメイトと協力して、連合自治会でやっているサロンや地区内の小中学校に対して認知症についての理解と対応の仕方を学ぶ。	3	101
9	法律相談会		2 包括	1 高齢者	一般住民	2 ねらいをさせる	相談会を通して、法律や自身の権利について学ぶ機会とする。	法律相談会を通して、自身の財産や相続に関心を持って頂くと共に後見制度の普及啓発に努める。	3	75
10	エンディングノート講座	31	4 共催(1と2)	1 高齢者		2 ねらいをさせる	中山地域ケアプラザと共催。緑区エンディングノートの活用方法・書き方について講座を通して理解する。	9月10月11月の計3回の連続講座。 1回目 エンディングノートの書き方 2回目 お片づけ講座 3回目 生命保険の見直し、家計見直し講座	6	177
11	エンディングノート講座	31	2 包括	1 高齢者		2 ねらいをさせる	地区内の老人会やサロンを対象として、少しでも多くの方に緑区エンディングノートの紹介、エンディングノートの周知活動をおこない、来年度の地区内でのエンディングノート講座への参加を促していく。	緑区版エンディングノートの周知やエンディングノートの書き方講座を実施。	7	173